

近代仙台研究会

第7回発表会

近代の仙台を中心とした建築、工芸、歴史、文化に対する理解と研鑽を深める研究会を平成28年1月に立ち上げました。この度第7回目の「発表会」を下記のように開催致します。

戦前、戦後の仙台をご存知の先輩方や、関心をもって研究されている方々の成果の発表を通し、多世代との交流を図りながら未来へと継承していきたいと思っております。興味のある方々のご参加をお願い致します。

会長 庄子晃子

<この回は終了しました。>

旧東北大学農学部守衛室

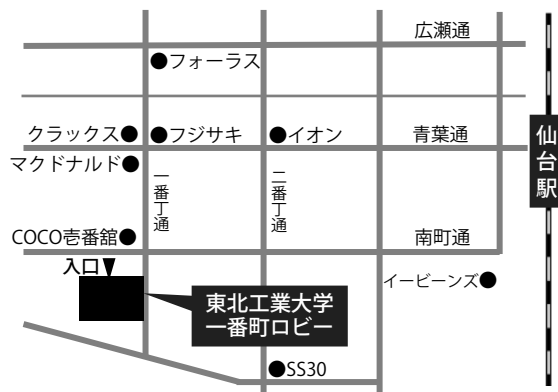
東北大学は仙台市青葉区内の5ヶ所にキャンパスが分散し、雨宮キャンパスに農学部がありました。この学部は戦後に開かれたこともあり、敷地の一部に旧制第二高等学校の古い建物が残っていました。そのひとつが守衛室です。大正14年(1925)に建てられたといわれ、水はけの良いとされるマンサード屋根になっているのが特徴となっております。キャンパスが面していた北六番丁通には、かつて四ツ谷用水が流れていました。

小野寺純一(会員・画家)



日時 2022年(令和4年)2月19日(土)
午後1:30~4:00 (1:00開場)

場所 東北工業大学一番町ロビー
2Fホール(青葉区一番町1-3-1)



参加 オンラインで視聴できます
(HPからの事前申込み制)

資料代 1,000円(発表内容の報告書。必要) の方は申込み下さい。

発表テーマ(仮称) ◆1人8分以内で8人が発表します。

開会挨拶 1:30pm~

第1部 生活文化と記憶 1:35~2:30

庄子晃子 日本の近代工芸・デザイン研究発祥の地仙台

—工芸指導所の記念碑(宮城野中学校の校庭南西隅)が伝えること—

伊藤正浩 白球と兵隊

—大正時代後期の軍隊野球(仙台歩兵第四連隊を中心に)—

岡本勝壽 楽都仙台と日本のジャズ史

菅野恭彦 昭和19年の徴兵検査—仙台市の例

ディスカッション

第2部 都市造営のあゆみ 2:40~3:36

内山隆弘 仙台城への石の道に関する考察~川内大堀通を中心に

崎山俊雄 大正後期~昭和戦前期の宮城県庁建設部門の構成員について

大和晴彦 松島パークホテルの細部デザインについて

斎藤広通 仙台建築会の活動と昭和5年竣工の建築について

ディスカッション

閉会挨拶・諸連絡 3:40~4:00

誌上发表

渡邊裕太 郷土読本に見る昭和初期の郡山市と仙台市の様相



近代仙台研究会

問合せ Tel. 090-4633-9570 斎藤

メール koukogen@ab.auone-net.jp HP <http://kindaisendai.com/>

※コロナ禍のなか、密にならないよう発表者のみで行います。
興味ある方は、オンライン(Zoomミーティング)での視聴をお願いします。